

市民が育てる  
東京・未来

ひろよしあつこ  
広吉敦子の

目黒・生活者ネットワーク

# おひさましポート

OHISAMA REPORT 2013. 11. 1 No. 85

発行責任者/今井真理 〒152-0003 目黒区碑文谷6-1-19 アネックスST 1階 TEL/FAX 03-3791-8069 <http://meguro.seikatsusha.net>

## 「財政健全化に向けたアクションプログラム」は、無駄を省くことができたか！

「削減計画による区民への影響は？」

平成24年度決算特別委員会報告

平成24年度決算では一般会計歳入は3.1%微増し934億639万円。歳出は2.9%増の890億71万円余。経常収支比率は88.9%と数字の上ではかなり改善されたが区民生活はどうなったか？財布のひもをぐっと締めて、買い控え、活動抑制し、資産売却を繰り返した目黒区。以下の問題点を指摘しました。



1. 学校開放・・・平成23年2703万円の予算は他の事業はほぼ1割減ですが、4割減の1607万円となりました。使わなかったお金が約160万円もあり、もっと有効活用できるはず。子どもの活動を制限しない予算執行とすべきでした。
2. いきいきサロン事業・・・平成22年から24年まで開設していた西小山の「にこにこサロン」は商店街の空き店舗を利用した「高齢者の新しい居場所」でしたが費用対効果を問われ廃止となりました。息子さんが車いすにお父さんを乗せてきたり、小さな子どもを連れてお母さんが「折り紙教室」に参加したりと今まで触れ合うことのなかった人たちが集まり、新たな地域コミュニティが育つ可能性が十分にありました。従来の「監視行政」から脱し、柔軟な運営ができるよう、区は後押しすべきです。
3. 雨水浸透ます等の助成・・・今年7月23日は100ミリを超える記録的な集中豪雨があり、目黒区内では140件の床上浸水がありました。23区は50ミリ対応の下水管を整備中です。下水管整備とともに、都市化によるヒートアイランド、地表がアスファルトなどで覆われているために起こる雨水浸透問題、温暖化等を解決するためにあらゆる手をつくさなければなりません。上限40万円申請が1件もなかったことは普及・啓発活動への経費をカットしたためとしか考えられません。
4. 目黒区独自の学力テスト・・・国の学力調査が毎年あるにも関わらず、小・中ほぼ全学年1535万円を費やし目黒区独自の学力テストを実施しています。子どものためというより教員側の経年比較、授業改善を目的としたこのテストは子どもにとって本当に必要でしょうか？子どもの理解・意欲向上を目的とし、子どものための予算の使い方に変わっていくべきです。
5. 民間の子育てふれあいひろば予算・・・家庭保育の支援である目黒区の「子育てふれあいひろば」はほとんど保育所内の設置ですが、民間運営の「ひろば」も増やしていく必要があります。しかし、区内で唯一民間の住宅を利用した「ひろば(子育てカフェ併設)」が閉鎖となりました。親がエンパワーメントでき、地域の支え合いが期待できる貴重な場でした。たくさんの親子に親しまれ、利用されていたこの施設がなぜ閉鎖となったのか、区はしっかりと検証し、二度とこのようなことがないようにすべきです。

## 広吉敦子の 議会報告 (第3回定例会)



常に区民の意見を取り入れながら区民と共に進む区政となるよう、働きかけていきます。

〈条例審査〉「区立げっこうはら幼稚園」が「げっこうはらこども園」になる条例、「子ども施策推進会議」を「目黒区子ども施策推進会議」と名称変更する条例改正他。

〈生活福祉委員会陳情審査〉

理容所、美容所の衛生水準向上に関する陳情書・・・営業の自由を侵害するため反対した。特別養護老人ホームに関する陳情・・・特養を生活の場としてしっかりと捉え、訪問看護をいれるべきとし、反対した。

年金削減中止の陳情・・・消費税増税による負担を考慮して採択すべきとした。

「子宮頸がんワクチン接種事業の一時中止を含む接種事業の調査、再検討を求める陳情」「重症心身障害児に関する陳情」他4本の陳情は全て継続となった。

〈その他の委員会陳情審査〉

「原発事故子ども・被災者支援法に基づく施策の早期実現を求める意見書提出に関する陳情」「目黒清掃工場整備事業における工場の焼却能力縮小に関する陳情」については採択を主張したが、残念ながら継続審査となった。